

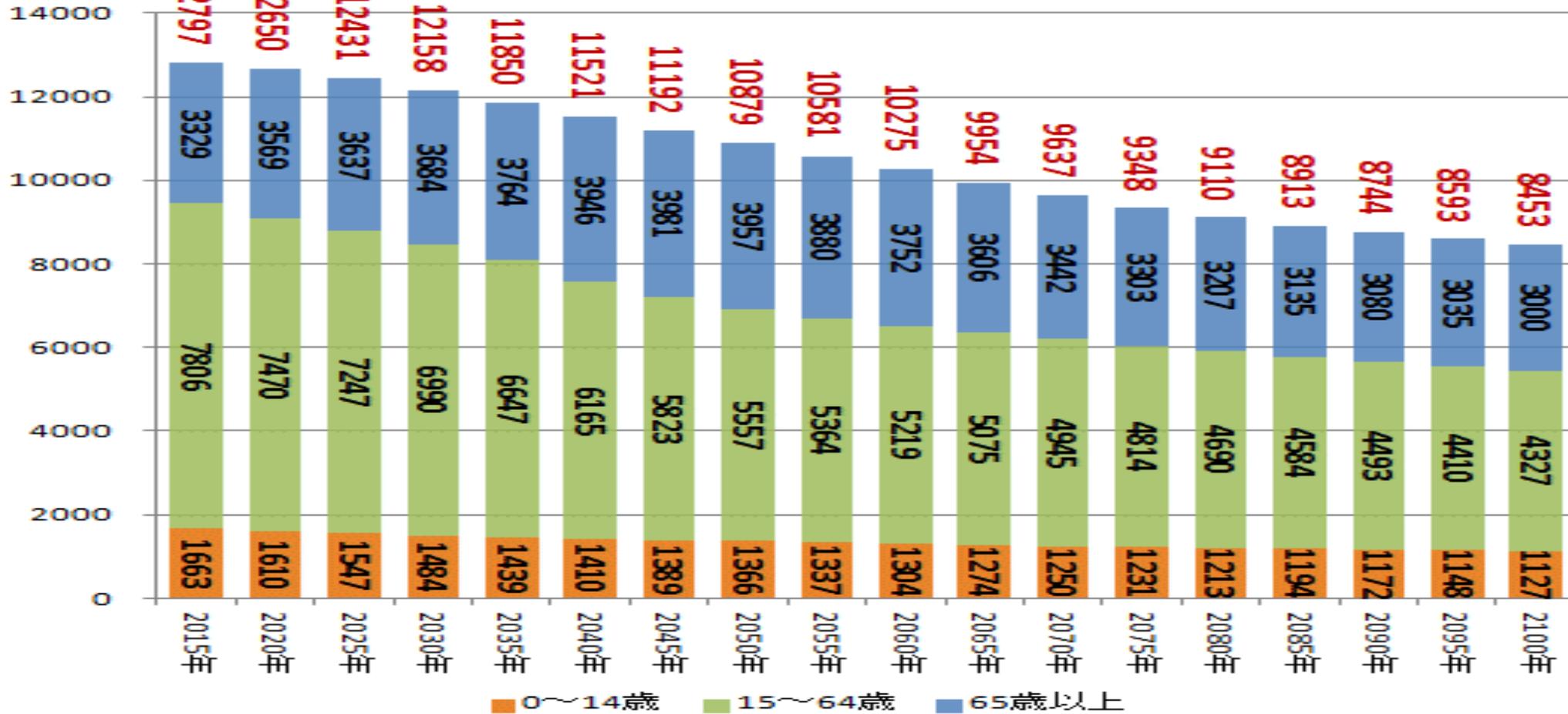
RPAの“働き方改革”への活用と
これを支えてゆくRPA+働き方改革コンソーシアム

定型作業はRPAで自動化の推進を

15～64歳の層が、2055年に向け毎年60万人が減ってゆく。
その後、2100年に向け毎年20万人が減ってゆく

日本の年齢階層別人口数推定(万人)

(World Population Prospects, the 2017 Revisionより)



対2015年
55%に！

未だ無駄な残業に悩まされていませんか？

内的要因

慢性的人材不足

ルーチンワークの
増加

外的要因

労働人口減少

少子化問題

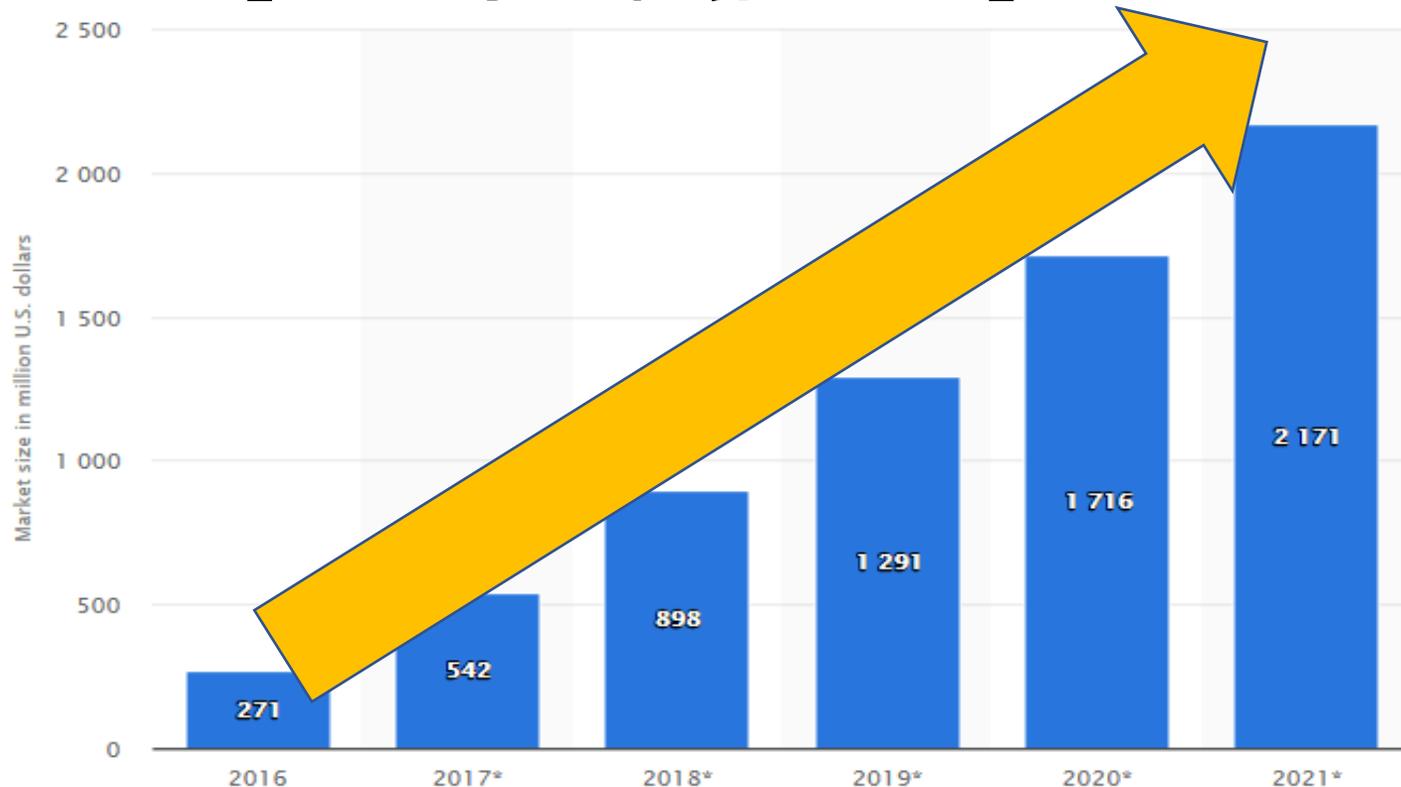
働き方改革



RPAとは・・・

RPA = Robotics Process Automation
(ロボットによる業務自動化)

【RPA海外市場データ】



日本でも働き方改革の救世主として大注目！

◇社会的課題へのソリューション

- ・少子高齢化などによる労働力不足への対応

- ・労働コストの上昇

- ・働き方改革の実現

⇒ 急速な活用の増加

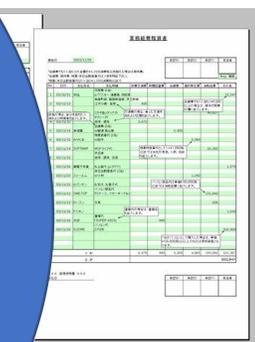
単純作業を自動化して業務効率UP

データ

糸

情報

人はより高度な
創造的業務に注
力できる！



ミスを無くし、
高品質な業務実行



締切りに追われる
こまごまとした仕事
から、解放！

デモ RPAの動き

- 旅費精算チェック

<https://www.youtube.com/embed/gEKlcJzqMVo>

- 紙の書類の電子データ化

<https://www.youtube.com/embed/ZXBMf7IE3N8>

RPAの特徴

**ロボットが代行
自動化**

単独では効果は無い、処理の間は端末を占有する
ロボットの動作を定義しないと使えない

反復・高精度

複数のアプリを同時並行的に操作できる

既存のアプリの変更は不要

プログラミングを必要としない

使いこなしてゆくには学習が必要

業務プロセスとして複数のロボットで実現できる

似た言葉： RDA とRPA

Robotic Desktop Automation

Robotic Process Automation

RDA 一つの作業を対象にする
デスクトップで動作する

RPA 組織を越えて複数の対象を扱う作業を対象とする
業務全体をも対象にする
サーバーで動作する

RPAが適用できる内容

ルールが明確で、機械的、或いは定期的に行われる作業

・データ入力・修正

他システムやアプリのデータを参照し、当該システムにデータを入力する。
入力済のデータを個別・一括して修正・更新を行う。

(ロジックが明確なデータ修正)

・データ照合

入力済データと別のデータとの比較・チェック。

(申し込みと登録データとの照合)

・データ出力

別システム経由のデータの出力。(メールに添付して送信)

・アプリの実行

スタートボタンをクリックする、などしてアプリを実行する。

RPAに期待される効果

生産性の向上

人が行うのは簡単ではない作業に適用する、
労働量・時間はそのまま処理量を増やせる。

同じ処理を同じ様に処理出来る

人は疲れたり、飽きたりする。ロボットは、いつも同じように処理出来る。

同じ処理を同じ品質で処理出来る

ミスなく、同じ処理を繰り返すことが出来る。

時間帯や休日に左右されない

深夜早朝や休日など、人が作業するには制約となる条件も影響を受ける事無く作業することができる。

RPAで出来ないこと

人が頭を使って判断し、対応している作業

作業計画の作成や指示、事前準備など

RPAと他の技術との違い

◇AI RPAが繰り返すのに対し、「学ぶ」という特徴を備える。

機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニングなどが関連した技術。

◇機械学習

データを解析し、整理するルールや規則、判断基準などを蓄積してゆく。

◇ニューラルネットワーク・ディープラーニング

人間の脳がデータを処理する特徴を自律的に学習し、ヒトの思考に近いかたちで処理を実行することが出来る。

◇RPA

ヒトがルールや判断基準を指定し、ロボットの動作を定義するルールベースのソフト。

自らが処理結果から新たな判断や処理をしたりすることはできない。 11

- 関連技術 Optical Character Recognition

印刷された文字、手書き文字を読み取り、文字として認識してデータに変換するシステムの総称

まだ100%の認識率には至らないが、その精度はどんどん向上して来ている。

RPAとの連動で、手書き伝票の処理など適用できる範囲が一層広がる期待が高い

最近のOCRの状況

AI-OCR <https://inside.ai/dx-suite/intelligent-ocr/>

住所

東京都渋谷区渋谷3-8-12
渋谷第一生命ビルディング4階

東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング4階

住所

千葉県浦安市舞浜
1-1

千葉県浦安市舞浜1-1

住所フリガナ

トウキョウトシブヤクシブヤシブヤダイイチ
セイメイビルディング

名前

野田 敦生

野田敦生

E-mail

Sales@inside.ai

Sales@inside.ai

勤務先フリガナ

エーアイインサイドカプシキガイシャ
エーアイインサイドカプシキガイシャ

番地

1-3-24

1-3-24

生年月日

55年02月08日

55年02月08日

店番号

3 8 3

383

口座番号

0946751

0946751

支店名

横浜西口

横浜西口

和暦選択

西暦

1

金額

1,500

1500

体調維持の心掛け

食事のバランス

食事のバランス

健康面で気にかかること あり

ない・ある

1

品番

4949268-01-495

4949268-01-495

RPAの発展

← 今はこの段階

第1段階

機械的、定型的な作業を自動化
ヒトが自動化する作業を定義する

第2段階

一部非定型作業の自動化を含む
作業の実績から、一部の作業をRPAが学習し、自動化する

第3段階

行動の自律化
AI機能を付加し、業務の分析・改善を進め、自動化の範囲を拡大する

RPAを導入する目的

ヒトが行っている作業の自動化

一定時間内で処理出来る業務の効率化

処理の正確さ

業務を部品化し、ユニットとして捉えることが出来る

という効果から、以下の効果を得ることを目的にしている。

・人的リソースのシフト

業務の効率化を進め、定型業務対応から顧客接点に関わる業務に人材をシフトする

・売り上げの拡大

処理時間の短縮・業務プロセスの短縮により、処理できる量を増やすことで売り上げの増大につなげる

・コスト削減

業務の自動化・効率化を進めてゆくことで、その業務に携わる要員の削減を図る

・グローバル標準化

RPAの適用により対象業務のモジュール化が進み、業務の標準化が図られ、それをグローバルにも展開してゆく効果が期待できる

企業の導入ステップ

- 1) PoCに向けて検討している、或いは、RPAについて調査中
- 2) PoC (Proof Of Concept)に取り組んでいる
- 3) 部門での導入を進めている
- 4) 全社・グループでの導入に取り組んでいる

RPAに対して期待している内容:

現場レベル

仕事や作業の効率化のツール

パソコンの操作の自動化で正確、多量な事務処理が出来る

浮いた時間を別の仕事に充てる事が出来る

経営層

サービスの迅速化、それによる競合に対する優位の確立

自動化できる業務の自動化によるコスト削減

浮いた時間・人材を別の業務にシフトし、効率的な人材の配置を目指す

RPA導入に関して、心配される点

- ・RPA導入後の運用が上手くいくだろうか？
“初物”に対する不安感
- ・ロボットが暴走したら？
時間が経つと誰も分からないロボットが動き続けていることにならないか？
想定範囲を超えて何か悪いことをしたりしないか？
暴走(止まらない)、突然止まってしまう、結果が正しくない・・・
- ・ヒトが居なくなっても大丈夫か？
上手くいっているとその仕事にヒトが関わらなくなるけど、それで大丈夫だろうか？という不安感
- ・業務変化やメンテナンスに関する対応
法令変更対応や業務変更対応。ロボットのバージョンアップなどいろいろな対応が求められることに成ろうが、これに対応してゆけるだろうか？

← 先行企業などから学んでゆく

活用したいと思うが、たとえば、、、

導入するにはどうすればいいのか。。

担当者はだれにすればいいのか？

どう活用できるのか？



運用、使いこなせるだろうか・・・

どんなRPAロボットがあるの？

導入後にはたとえば、、、

そんなこともロボットに関係するのか！



いろいろなロボットを導入し、
手に負えなく成ってきた！



やはりIT部門が管理すべき？



ロボットを動かす順番を調整しなくては..

一体、どれだけのロボットが
うごいているの？



これらは、新技術にはつきものの悩み事
しかも多くの人がこれに悩み始めている…

RPA＋働き方改革コンソーシアムに参加して これを乗り越えてゆこう！

一人で悩まなくてもいい

同じ悩みを持った人達と一緒に
取り組んで行ける



「 RPA+働き方改革コンソーシアム 」



SQUARESPACE.COM/LOGO - ICONS BY THE NOUN PROJECT

2018年 6月 5日に発足

本コンソーシアムで広くRPAの使い方を研究してゆきます。

- ・研究会にて、RPAの適用の仕方、その管理・運用の仕方、働き方改革の進め方など、どうやって永続的に活用してゆくかをユーザー同士で幅広く検討を行い、早く確実な効果を上げ、各社の発展に役立てて頂きます。
- ・セミナーを開催し、メンバーの方々を中心に、最新の知見などを広くご紹介してゆきます。
- ・RPAの適用対象としている業務に関わる知識についても、認定制度や知識習得のための教育にも取り組んでゆく予定です。

RPA+働き方改革コンソーシアムの構成

幹事長 鶴保征城様 (学校法人HAL 校長(元IPA/SEC 所長、NTTソフト 社長))

副幹事長 田中淳一様 (ジェンパクト株式会社 代表取締役社長
グローバルシニアバイスプレジデント)

	社名、団体名	候補者	役職
幹事	新日鉄住金ソリューションズ (株)	甲斐 龍一郎	技術本部情報システム部長
同	(株)日立システムズ	鎌田 芳栄	理事 デジタライゼーション推進統括部 事業主管
同	(株)電通デジタル	中津 久美子	執行役員
同	住友電気工業 (株)	奈良橋 三郎	執行役員
同	住友林業 (株)	清水 孝一	執行役員情報システム部長
同	味の素 (株)	古川 昌幸	情報企画部長
同	東京ガス (株)	門 正之	執行役員デジタルイノベーション戦略部長
同	(株)明電舎	鈴木 典芳	情報システム部長
同	(株)NTTデータ	杉山 洋	製造ITイノベーション事業本部 第二製造事業部長
監事	新日本有限責任監査法人	片倉 正美	常務理事 公認会計士
同	(株)NTTデータ経営研究所	三谷 慶一郎	パートナー

□監事は、アドバンス・ビジネス創造協会の監事が就任

□事務局 アドバンス・ビジネス創造協会

会員企業数 21社 (2018年11月1日 現在)

RPA+働き方改革コンソーシアムの活動

セミナー

1回/月ペースで開催を予定。

- 第1回 「事例からみるRPAを活用した真の働き方改革」 7/20
- 第2回 「働き方改革を実現する最新のRPA活用方法ご紹介」 8/16
- 第3回 「RPA導入による働き方改革成功のポイント知ってますか？」 10/2
- 第4回 「RPAの運用管理とセキュリティ対策、メーカーはどう考えているの？」 12/5
 - ・本当にそれで大丈夫？RPAのセキュリティとコンプライアンスについて考慮すべきこと
Blue Prism株式会社
 - ・RPAツールWinActor/WinDirectorとAI-OCRについて
株式会社NTTデータ
 - ・業務プロセスの可視化からロボットの集中管理まで
本当に業務効率/品質をあげるRPAの導入方法とは？
ハートコア株式会社

活動の内容

研究会

以下の研究会の活動を開始しています。

研究会1 「これからの RPA 導入」

11社 16名のご参加で、1回／月 研究会を開催しています。

- ・どの様にRPA導入を進められたのか、企業での実例のご紹介を基にその進め方の理解を深め、自社の導入計画検討への参考にして頂いております。

研究会2 「多くのロボットをどう管理をしてゆくか？」

9社 13名のご参加で、1回／2カ月 研究会を開催しています。

- ・参加者の皆さんからテーマを募り、関心の高いテーマから順に“たたき台”を準備し、皆さんで議論をしています。
- ・ここでは結論を出そうとする議論にはしていません。出来るだけ多くのその課題に対する切り口・考え方を出し、最終的に自社での取り組みの参考にしていただくことを考えています。

更に、今後、RPAのおおもとにある、

『働き方改革』

『業務改善』

といった内容での研究会も立ち上げて行きたいと考えております。

そういう意味では、業務系の方々のご参加もお願いしたいと思っています。

RPA+働き方改革コンソーシアムの概要について、説明させて頂きました。
ご興味を抱いて頂けましたでしょうか？

ひとりで考えるのではなく、事例からの学びをもっと深めましょう！
色々な考え方、対応の仕方を学ぶことは、結局、自社における展開
における成功への近道となります。

ご興味がおありでしたら、ご説明に伺います。

お問い合わせなど ⇒

「RPA+働き方改革コンソーシアム」で検索
『お問い合わせフォーム』からお願い致します。

ご清聴ありがとうございました